

複合施設管理運営基本計画中間案に対するパブリックコメント実施結果

「複合施設管理運営基本計画中間案」へ貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。お寄せいただいたご意見と、それに対する市の考え方を公表します。

■実施期間

令和6年4月24日（水）～5月24日（金）

■意見提出方法

持参、郵送、ファックス、電子メール

■提出数、意見数

提出数 4通 意見数 12件

※お寄せいただいたご意見につきましては、なるべく原文のまま掲載するようにしていますが、個人が特定される表現や具体的な名称については一部省略している部分がありますので、ご了承ください。

No.	該当箇所	提出された意見の内容	意見に対する市の考え方
1	その他	中間案を少し見てみました。白河市内に最近から引っ越してきました●●(30代男性)です。不躰ではございますが、もしよろしければ私も意見をさせていただきたいと願います。 ① 若者を白河市に定着させる必要があると以前から感じてます。今回の複合施設に関して、主観的意見になりますが、メリットを受けやすく、かつ、利用してみてもいいかなと感じやすいのは、年配層、主婦層、中高生以下ではないかなと感じました。確かに中高生以下がメリットを受ける必要はありますが、彼らが成長した後の受け皿が今の白河市にはないように感じます。端的に申しますと、現在の中間案だと20～40代の働き盛りの社会人の方々に対して、魅力が伝わりにくいと感じます。実際私もそこまで魅力を感じませんでした。今回の複合施設のターゲットにそもそもそのような方々が含まれてないのであるならば、中間案のままで構わないのですが、少し残念に感じます。	施設に導入する機能については、これまで、「複合施設整備基本計画」（令和3年3月策定）の策定段階における検討のほか、「複合施設整備基本設計」（令和5年3月策定）を策定する上でも、市民にも設計に参加していただくため、有識者や各種団体の市民代表などによる「基本設計検討委員会」（11名）において、広く意見を伺いながら、議論を深めてきました。これに加え、「関係団体へのヒアリング」や「一般の方や高校生によるワークショップの開催」等による「市民意向の把握」にも努め、出された「意見・提案」等を可能な限り設計に「反映」しながら取りまとめました。 また、管理運営基本計画を策定する上でも、10代から40代を含む幅広い世代が参加したワークショップで出された「意見・提案」等を可能な限り「反映」し、具体的なサー

		② 私は今後の白河市を益々活気ある市にしたいと願っております。そのためには、現在の20～40代層の獲得や、中高生以下のその後の受け皿が必要ではないかと考えております。私は男性ですので、例えば無料あるいは市民なら安価利用で、バーベルや各種機器を揃えたトレーニングルームが開設されるなら利用してみたい、そして白河市に留まってこの恩恵に与り続けたいと感じます。 複合施設内には難しいかもしれませんが、中高生以下の今後のためには、大学や専門学校などの進学先となるようなものを開校したほうが良いのではないかと考えています。 今更になってこのような身勝手な意見を長々と発言しますことをお許しください。今後の白河市のためにも一市民として、上記のようなことを願っております。何かの参考になるのであれば、それは本当に幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。	ビス内容や、開館日・開館時間・利用料金の考え方など、あらゆる世代の利用を想定した管理運営基本計画中間案を取りまとめましたので、ご理解のほどお願い致します。 ご意見を踏まえ、生涯学習センター（仮称）では、20代から40代の方々の興味・関心を喚起する魅力ある講座やイベントの実施に向けて、具体的な内容を検討してまいります。 また、ご提案のトレーニングルームについては、周辺施設と用途が重複しない機能配置の考え方から、複合施設には設けない計画としております。なお、白河中央体育館に「トレーニング室」が備えてありますので、ぜひご利用ください。
2	その他	① 私は、そもそも、複合施設の建設に反対です。理由は以下の通りです。 1, 「子育てしやすい環境づくり」に本当に必要なのは、税負担（保険料等を含む）の軽減です。維持費がかかり市民の税負担が増す複合施設の建設ではありません。 2, 「子育てしやすい環境づくり」の為の事業というのはもっともらしく聞こえますが、子どもがいる世帯のみが恩恵を受ける、極めて不公平な政策です。そもそも、様々な理由から結婚することすら叶わない方、子どもをつくることができない方等が大勢います。そのような、子どもを育てたいのに育てることができない方々にまで税負担を求めるのは間違っています。 3, 日本は、私有財産制を否定する社会主義国家ではありません。「にぎわいの創出」は、国や地方公共団体の仕事ではなく、民間の仕事です。できる限り、市民の税負担（保険料等を含む）を軽減し可処分所得を増やすことが、一番の「にぎわいの創出」になります。	市民会館跡地は、市役所庁舎に隣接し、中心市街地の恵まれた環境にあることから、多様な可能性を模索するため、利活用の方針が定まるまでは、暫定的に駐車場として利用することとしてきました。 この間、市では、庁内の「検討会議」を立ち上げ、組織を横断した検討を重ね、令和元年8月には、市民会館跡地の利活用に当たっての基本的な方針を定めた「市民会館跡地利活用基本方針」を策定いたしました。 その後、市民アンケート調査を実施するとともに、有識者や各種団体の代表などの民間委員で構成する「検討懇談会」を設置し、庁内会議と同時並行的に検討を進め、令和3年3月には、複合施設の整備コンセプトや整備方針などを定めた「複合施設整備基本計画」を策定しました。 令和5年3月には、整備コンセプトを「みんなの笑顔がつながる ほっとスペース」とし、「健康増進」、「子育て支

4, 市民の税負担（保険料等を含む）が減り懐があたたかくなれば、経済的なストレスが減り、「心と体の健康増進」につながります。 5, 「価値観が多様化している」と認識しているにもかかわらず、なぜ「意図的に『居場所』をつくりだす取り組みが求められている」という結論に達するのでしょうか。様々な価値観の人達を無理やり一箇所に集めても、お互いの話が平行線に終わるだけで、決して理解し合えることはないと思います。そもそも、わざわざ複合施設に行かなくても、実社会の中で、「現代は価値観が多様化しているのだから、理解し合えないことの方が多いのだな」ということを思い知らされながら生活している市民が大多数だと思います。「意図的に『居場所』をつくりだす取り組み」など誰も求めています。 6, 私は、「最近の白河市はハコモノ行政だ」「無駄な公共事業が多い」等の声をよく聞きます。しかし、そのような意見を持った市民の多くは、日々の生活に追われ、一々意見を書いている余裕などないのが現状です。施設の建設を前提として形式的にパブリックコメントを実施するのではなく、もっと市民の声（本音）に耳を傾ける必要があると思います。 7, 新たに施設を建設するよりも、既存の施設をフル活用すべきです。それで事足りると思います。 8, 「官民連携」という名の『行政の肥大化』こそ、食い止めなければなりません。「市民から一度税金をとって、それをまた（特定の人や団体に）配ったり、（特定の人や団体が恩恵を受ける事業に）使ったりする」ことは、非合理的であり、不公平であり、無駄です。はじめから税金をとらないことこそ、『行政のスリム化』につながります。 9, 市民の税負担を減らし、より自由で開かれた白河市を目指してほしいと思っています。大多数の市民の可処分所得（自由に使えるお金）を減らし特定の人や団体に再分配する政策は、社会主義政策に	援」、「生きがいづくり」、「民間」、「交流」の 5 つの機能を整備するため、実際の利用を想定して、平面図や立面図などを取りまとめた「複合施設整備基本設計」を策定しました。 市の公共施設を総合的に管理する計画の考え方からも、「中央保健センター」及び「中央公民館」を移転し、特に、生きがいづくり機能である「生涯学習センター（仮称）」については、以前から強い要望があった中央公民館機能を含めた生涯学習の拠点とする計画としたところです。 管理運営基本計画を策定する上でも、有識者や各種団体の市民代表などによる「検討委員会」において議論を重ねるとともに、「一般の方や高校生によるワークショップの開催」や「関係団体との意見交換」等による「市民意向の把握」にも努め、出された「意見・提案」等を可能な限り計画に「反映」しながら取りまとめましたので、ご理解のほどお願い致します。 なお、ご意見については、今後の行政サービスの実施にあたり、参考とさせていただきます。
---	---

		他なりません。そのような利益誘導型の事業は今すぐ廃止すべきです。 ② 複合施設を建設した場合には、複合施設の建設とそれに付随する政策の目的が本当に達成されているのかどうか、建設前と建設後の統計を比較して、毎年、しっかり検証し市民に公表すべきです。 ③ また、政策の目的が達成されなかった（効果がなかった）場合には、直ちにその政策を廃止し、複合施設を民間に売却すべきです。 〈検証の公表の例〉 1, 子育てしやすい環境が整い、人口は〇〇〇〇人増えた。 2, 子育てしやすい環境が整い、出生率は〇.〇〇上がった。 3, 人口増加に伴い、税収が〇億円増えた。 4, 市民の心と体の健康が増進し、医療費が〇〇〇〇万円減った。 5, 市民の心と体の健康が増進し、自殺者が〇〇人減った。 6, 市民の心と体の健康が増進し、精神疾患患者が〇〇人減った。	
3	子育て支援センター（仮称）について	① 子育て中の親としては、これまで市内にバラバラにあったものが1ヵ所に集まるので利用しやすくなったと思います。キッズパークも幼児から小学生向けのものもあるみたいですので、少し年齢の離れた兄弟も連れて遊ぶことができます。水遊び場があるのもいいですね。今までの白河にはないものですので、施設ができるのをとても楽しみにしています。 ② 県外の子育て施設も利用したことがありますが、良い施設だと思ったのは、設備も大事ですが、スタッフさんや運営がしっかりしているところでした。せっかく1ヵ所に集まったので、それぞれがバラバラに対応するのではなく、どのスタッフさんに声をかけても子育て支援センターの利用や相談などに対応してもらえるとありがたいです。	子育て支援センター（仮称）については、「ファミリーサポートセンター」、「ホームスタート」、「キッズパーク（屋内遊び場）」、「子育てひろば」、「託児スペース（一時預かり）」を集約し、子育て世代が社会とつながりながら育児を楽しめる支援を目指してまいります。 ご要望を受けて、子育て支援センター（仮称）の運営にあたっては、計画に基づき、利用者の視点に立ち、わかりやすく快適に利用できるよう、スタッフの人材育成や体制の構築に努めてまいります。
4	交流、カフェ、生涯学習センター（仮称）について	① 市内の公共施設には、気軽に滞在できる場所がなかったので、1人でも、友人たちとでも過ごせそうな場所ができるのは嬉しいです。 ② カフェもできますが、店舗内での飲食のみではなく、交流ス	市民交流スペース（仮称）、市民交流ルーム（仮称）や市民の広場（仮称）は、気軽に来訪でき、誰にとっても居心地がよい空間づくりを目指しております。これらの場所で

		ペースや屋外でも飲食できるといいです。 ③ カフェはチャレンジショップ的なものではなく、チェーン店のよう なある程度安定して美味しいカフェでないとしづらいと思 います。 ④ 公共施設予約システムは、正直言って、とても使いづらく不便です。 窓口での手続きが必要になっているので、複合施設では、簡単にオン ラインのみで予約や支払いができるようにしてほしいです。 ⑤ また、仕事をしていると平日の日中の講座には参加できません。夜 間や土日に参加したくなるような講座を開催してほしいです。 少しでも意見を取り入れてもらえると嬉しいです。施設の完成を楽し みに待っています。	は、誰でも自由に使えるスペースとして、カフェでテイク アウトしたものを楽しめるように軽飲食を可能とする予定 です。 また、カフェ事業については、今後、管理運営を担う指 定管理者と協議を行いながら検討を進めてまいります。 施設利用にあたっては、ウェブサイトでの情報提供やオ ンラインによる予約システムなど、いつでも、どこからで も施設利用や、施設情報を得られるよう ICT（情報通信技術） を取り入れたシステムの導入を計画しています。なお、こ れまでと同様に、窓口での予約方法も継続します。 生涯学習センター（仮称）については、働く世代や学生 の方々が、仕事や学校以外の時間に、気軽に講座などに参 加できるように、開館時間を現中央公民館の時間より拡大 し、22時までとする計画です。 ご意見を踏まえ、夜間や土日に魅力ある講座やイベント を提供できるよう検討してまいります。
--	--	--	--